



平成22年

3月号



あながわはなぞのようちえん

# 園だより

今月の「ののさま」のことは

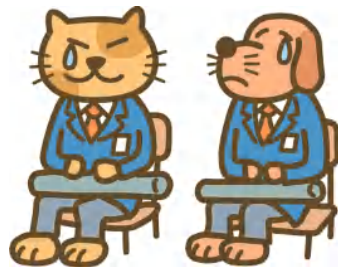
ちえきぼう  
智慧希望

希望を持ち、  
楽しく暮らそう。

## 今月の予定



日	曜	活動内容	保育	体健教室	給食
				長 中 少	
1	月		一日		
2	火		一日	○	○
3	水	行事前日保育	半日		
4	木	参観日	半日		
5	金		一日	○	○
8	月		一日		
9	火	授与写真撮影	一日	○	○
10	水	3月生のお誕生会	半日		
11	木	卒園式予行練習	一日		○
12	金		一日		○
15	月	行事前日保育	半日		
16	火	卒園式			
17	水		一日		
18	木	進級組クラス発表・教習布 学期末半日保育	半日		
19	金	終業式	半日		
23	火	同窓会(6年生)	春休み		



### 【修了証書授与写真】

9日(火)

卒園式当日に撮影できない修了証書授与の個人写真を一人ずつ撮影いたします。よほど体調が悪い以外は、なるべく欠席なさらないよう、お願いいたします。

### 【卒園式】

16日(火)

卒園式は、会場(本堂)の都合で、年中・年少組はお休みです。代表園児が参加しますので、全員出席扱いとなります。

### 【3月の保育料】

3月は卒園・終業となりますので、3月分の保育料引き落としがスムーズに行くように、10日までに銀行口座へのご入金をお願いいたします。

## たくさんの出会いを!

3月、卒園・終業の月になってしまいました。この一年間、幼稚園に対してご理解をいただき、たくさんのご協力をありがとうございました。

卒園・終業は、お別れであると同時に、新たな旅立ちや出会いの時でもあります。

わたくし事ですが、中学を卒業して進学した高校は、地域の中核都市にありました。田舎町から進学した私は、いろいろな地域から通っている同級生にまず驚きました。田舎町でのほほんと育った私には、近隣にいろいろな町や村があることに気づかされました。また、中には、中学浪人の同級生もいて、1歳しか違わないのにすごく大人びて見えました。バイクで通ってくる生徒もいて、これも驚きでした。そして、街の子は先生の目を盗んで、禁止されている喫茶店なんかに行っていて、不良にも見えました。

そんな驚きの連続の中で、硬軟たくさんの刺激を受けて、思春期を過ごすことができました。



大学は新潟でしたが、高校があった街よりさらに大都会でした。周りの学生の出身地は高校よりさらに広がり、北は北海道から南は沖縄までいました。いろいろな地方の話を聞くことが楽しくて仕方ありませんでした。

また、サッカーで県代表だった学生、スキーがめちゃくちゃ上手い学生、しばらく顔を見なかったなと思ったら、ヒマラヤに行っていたという学生、地元ラジオ局のDJをしていた学生、落語研究会で林家こん平師匠の前座をつとめた学生、年上のバスガイドと付き合っていた学生など、そんな雑多な学生との出会いとその話を聞くことで、自分で経験するには限界があるけれども、たくさんの経験をしたような気がしました。

いまさらながら、人との出会って面白いなと思います。

卒園・終業する子どもたちにも、たくさんの新しい出会いがあることを祈っています。そして、周りの友だちが経験したことのない

お茶の作り方を話したり、お茶のお作法、本当のいも掘り、原っぱで食べたさつまいもご飯の味、ネイチャーランドのターザンごっこ、生の大根の味などを話したら、たくさん友だちができるかななんて心配は無用に違いありません。

### 【ハイチ地震義援金のお礼】

先日募ったハイチ地震の義援金は、3,776円集まりました。幼稚園協会を通して、ユニセフなどに寄付させていただきました。ご協力、ありがとうございました。



## 今月の保育

単元	保育のねらい	活動	予想される子どもの状態と対応
年長組	・卒園に向けていろいろな活動を通して、まわりの人への感謝の気持ちを持つ。	「めざせ! ピカイチ大作戦! ~ピカピカの一年生になるために~」	卒園制作活動の取り組み、小さい子へのお世話、片付けなど何事にも一生懸命に心を込める姿がピカピカ輝いています。文字も急に書けるようになり、かなりのことが理解でき、考える力も育って、幼児期の成長の大きさに驚きます。共に育てたピカピカの姿は、優しさや心を込める温かさ嬉しさが伴っている中で、生涯の栄養となります。この時期だけ小学校への不安もあるでしょうから、大人が、心配ことを言わずに、ゆったり受け止めてあげるようにしましょう。
	・戸外で体を動かし、仲間と触れ合って遊びながら、つながりを深める。		
年中組	・いろいろな友だちと遊びながら、つながりを深め、年長組への進級を楽しみにする。	「身体も心も年長さんに へんしん!!」	異年齢でたくさん関わったり、プレゼント作りをして「もうすぐ最年長のクラスになる」という意識と期待を育んでいるところです。兄弟間の育ちや性格で、その姿は様々ですが、張り切っている気持ちや努力を、プラスに考え認めたり、励ましましょう。仲良しのお友だちと別なクラスになってしまうなどとマイナスの心配より、お友だちが増えることは、新たな希望と考え、前向きな言葉を交わし、期待と自信を育てあげましょう。
	・様々な活動の中で、自分の持っている力を発揮できるようにする。	「ねえ、みてて! こんなことが できるんだ!」	
年少組	・一つ大きい組になる喜びを味わいながら、遊びや活動に取り組めるようにする。	「みんなで歌おう! ~ ファイト♪ 年中♪ ~」	自分で色々な事を判断して、豊かになった言葉を交わし、遊びや生活を積極的に楽しんでいます。自発的に行動する姿を見ると、安定して、お兄さん、お姉さんになったことを感じます。大人が、いつまでも赤ちゃん扱いせず、小さなことでも認めたり、褒めたりして、一緒に喜んであげましょう。さらに、大きく成長できることでしょう。
	・他クラスの友だちとの触れ合いを持ち、つながりを深めていく。	「再び参上!! 元気100倍! おむすびマン!!!」	

### 【教職員の動静】

- ◆退職  
伊藤 愛美先生  
岡野 知香子先生



いずれも専業主婦となり、家庭に入られるそうです。幼稚園での経験を活かして、素敵なお母さんになることを祈っております。

### 【教職員の動静】

- ◇新任  
仲田 亜矢さん  
植草大学短期大学部卒業見込み。  
高校時代はソフトボール選手だったスポーツマンです。



林 愛弓さん  
千葉敬愛短期大学卒業見込み。本園で実習をして幼稚園教諭の資格を取得いたしました。